

事務事業名 雲南市校長協議会補助事業		所属部 教育委員会	所属課 教育総務課	
総合計画体系的	政策名 (IV)ふるさとを学び育つまち<教育・文化>	所属G 教育総務・給食グループ	課長名 古田光弘	
	施策名 (27)学校教育の充実	担当者名 杉原美和	電話番号 0854-40-1071 (内線) 2271	
	目的対象 小学校の児童・中学校の生徒 意図 基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 5 0 0 2 事務局総務管理事業	項目 中事業 中事業名 0 5 1 0 9 6 雲南市校長協議会補助金	
	基本事業名 (082)地域力を活かした教育の充実 目的対象 児童・生徒 意図 地域力を活かして学ぶ。			

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述) 雲南市学校教育活動事業の推進と雲南市学校教育の資質の向上をめざす雲南市校長協議会に雲南市より補助金を交付。 (協議会での事業内容) 校長協議会事業、教育研究会事業、中学校体育連盟事業、総合的な学習の時間事業ほか全21事業。 ※学校「夢」プラン事業 3,000千円 (雲南市立学校自主企画事業) 各学校が独自に企画した特色ある学校づくりを支援するための補助金。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動 27年度実績(27年度に行った主な活動) 校長協議会での実施事業に対する補助金交付。 ※学校「夢」プラン事業に対する補助金交付。	28年度計画(28年度に計画する主な活動) 校長協議会での実施事業に対する補助金交付。 ※学校「夢」プラン事業に対する補助金交付。			
	② 活動指標				
	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア	補助金交付件数	件	2	2	2
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか) 雲南市校長協議会 (小・中学校)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
	② 意図(対象がどのような状態になるのか) 本市の学校教育の振興、また雲南市校長協議会事業の連携強化及び資質の向上を図る。 ※学校「夢」プラン 魅力(特色ある)学校づくりの支援により、「夢」発見プログラムの推進を図る。	ア	小・中学校数	校	25	23	23	22
		イ	小・中学校生徒・児童数	校	3,135	3,064	2,996	2,947
		ウ	小・中学校教員数	人	372	383	395	385
		④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
		ア	実施事業件数	件	21	20	21	20
		イ	学校「夢」プラン事業について成果指標を達成した学校数	校	-	-	11	15
		ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
雲南市学校教育活動事業 6,868千円 ※学校「夢」プラン事業 3,000千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円	3,100	3,100	3,100	3,000
	一般財源	千円	6,946	6,681	6,768	6,704
	事業費計(A)	千円	10,046	9,781	9,868	9,704
	人件費	人	1	1	1	
	正規職員従事人数	時間	10	10	10	
	延べ業務時間	千円	39	39		
	人件費計(B)	千円	10,085	9,820	9,868	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
開始時期と変更になった事項・・・18年度まで校長協議会の管理する事業それぞれに補助金を交付していたが、事務量の節減を図り、19年度からは新たな補助金交付要綱を制定し、校長協議会へ一括して交付している。	毎年度、補助金対象の事業内容について聞き取り調査。 ※学校「夢」プラン 各校からの事業提案により、審査式の配分方式にあらためた。	※学校「夢」プラン 学校配分予算が縮小されるなか、学校独自の取組を支える学校「夢」プラン事業の存続要望が学校からはある。 地方創生チャレンジPTからは、例えば取組発表の場を設けたり、「学力向上」などテーマを限定した取り組みにシフトすべきとの意見がある。

事務事業名	雲南市校長協議会補助事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	交付した補助金により、校長協議会が進める学校教育の質の向上につながる事業実施を可能としている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	廃止、休止することで事業の実施が困難となり、学校教育の振興を妨げることとなり、影響がある。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	(5) 事務事業の環境変化・住民意見等にも記述したとおり、これまでの類似事業を統合したものであり、これ以上の統合の余地はない。		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		雲南市からの必要最小限の補助金のみで事業を実施しており、その他の収入源はないため、削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		補助金申請受付から確定までの事務を必要最小限の人員で処理しており、削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		市内小中学校の全ての校長で組織されている団体に対しての助成であり、公平・公正である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		適切な事務処理が実施できた。 また、補助メニュー全21事業についての効果的な見直しに向けて、校長協議会役員との協議の場をもつなど、補助金のあり方について学校現場との認識の共有を図ることができた。		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
<p>基本的には、従来どおり実施していくこととするが、学校「夢」プランについては、特定財源により実施している部分であることを強く認識しながら、取組発表の場を設けるなど、各校の取り組みがより質の高いものとなるための方策を検討する。平成28年度は、事業提案区分を昨年の3から2つに減らした上で、審査式の配分方式により実施する。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			